

留 学 報 告 書

記入日: 2016年1月13日

所属学部／研究科・学科／専攻	文学部史学地理学科地理学専攻
留学先国	大韓民国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 国立忠北大学 現地言語: 충북대학교
留学期間	2014年3月～2014年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	政治外交学科
帰国年月日	2016年1月12日
明治大学卒業予定年	2017年3月



留学先大学について			
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他		
学年暦	1 学期:3 月上旬～6 月下旬 2 学期:8 月下旬～12 月中旬		
学生数	約 2 万人		
創立年	1951 年		
留学費用項目	現地通貨 (KRW)	円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	2,330,000	233,000 円	
食費	0	0 円	寮費に 3 食含まれています。
図書費	40,000	4,000 円	
学用品費	10,000	1,000 円	
教養娯楽費	500,000	50,000 円	
被服費	80,000	8,000 円	
医療費	0	0 円	
保険費	1,000,000	100,000 円	形態:
渡航旅費	400,000	40,000 円	
雑費	1,000,000	100,000 円	
合計	5,360,000	536,000 円	

渡航関連

渡航経路:								
渡航費用 <table border="0"> <tr> <td>チケットの種類</td> <td>片道</td> </tr> <tr> <td>往路</td> <td>11,430 円</td> </tr> <tr> <td>復路</td> <td>20,252 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>31,682 円</td> </tr> </table>	チケットの種類	片道	往路	11,430 円	復路	20,252 円	合計	31,682 円
チケットの種類	片道							
往路	11,430 円							
復路	20,252 円							
合計	31,682 円							
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。								
DeNA								

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)
大学の宿舍
2) 部屋の形態 <input type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2)
3) 住居を探した方法: 留学先の大学の勧め
4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス) 他の交換留学生もたくさん住んでおり、仲良くなれるのでよいと思いますが、少し値段が高めです。食事も普通です。ただ、留学コーディネーターの方が申請などをしてくれるので、とても楽です。ルームメイト留学生同士になることが多く、同じ国で固められる(中国人は中国人と住む)ことも多かったです。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？ 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

- 利用する機会が無かった
 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

相談窓口の他、国際事務室があり、職員の方が何でも相談に乗ってくれました。英語も可能です。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

危険な目にはあいませんでした。ただ、友達から危険な区域がどこなのか聞いて、立ち入らないようにしました。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮では Wifi が有料で使えなかったので、有線LANで繋いでインターネットを利用しました。部屋や時間によってつながりやすさが違い、スカイプなどがしづらい時もありました。学校やほとんどのカフェで Wifi があるので便利でした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ (例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現金で持っていました。インターネットでの買い物にはクレジットカードも使いました。銀行口座は学生証を作る際に同時に開設でき、学生証がキャッシュカードとして使えました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

コンセントの変換器

卒業後の進路について

1) 進路

- 就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
26 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
국제관계와 시사영어	国際関係と時事英語
科目設置学部・研究科	政治外交学科
履修期間	前期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	大教室での講義
授業時間数	1週間に 150 分が 1 回
担当教授	이충희
授業内容	国際関係論を経済などといった様々な面から考える。
試験・課題など	試験は中間テストと期末テストがあり、さらにレポートの提出が 1 度課された。
感想を自由記入	教授は英語を話せるが、授業は韓国語で行われたため、授業の内容はそこまで理解できなかったのが残念。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
영어회화 I	英会話 I
科目設置学部・研究科	英語教育学科
履修期間	前期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	小さめの教室で講義、ディスカッションを頻繁に行う
授業時間数	1週間に 150 分が 1 回
担当教授	양희에리카리
授業内容	英語で授業は行われ、英会話やディスカッションを行う。
試験・課題など	中間試験と期末試験があり、どちらもオーラルテストで教授と面接をする。
感想を自由記入	クラスの子とも仲良くなれてとても良い授業だったが、教授の評価の付け方は厳しめだった。とても楽しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
한국대중문화의 이해	韓国大衆文化の理解
科目設置学部・研究科	国際教養科
履修期間	前期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、2 回の巡検
授業時間数	1週間に 150 分が 1 回
担当教授	정소영 조요안나
授業内容	韓国の大衆文化について、映像などの視覚資料を使ったり、実際に経験して学んだ。
試験・課題など	中間試験はチーム発表で、期末試験はレポートだった。
感想を自由記入	文化が学べてとてもよかった。巡検で伝統的の衣服を着たりお餅を作ったりと、貴重な体験ができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
일본외교론	日本外交論
科目設置学部・研究科	政治外交学科
履修期間	前期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に100分が1回、50分が1回
担当教授	박홍영
授業内容	日本が過去にどのような外交政策を行っていたのかを学ぶ。
試験・課題など	中間テストと期末テストが筆記試験で行われた。
感想を自由記入	教授が日本語が堪能な方で、授業が終わってからも良くしていただき、授業は難しかったが取ってよかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
자연지리학 및 실습	自然地理学ないし実習
科目設置学部・研究科	地理教育学科
履修期間	後期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	実習とあるが、実際は普通の講義
授業時間数	1週間に100分が2回
担当教授	김종연
授業内容	気候学と地質学にわけて週に2回授業があり、それぞれの学問の基礎を学んだ。
試験・課題など	気候学と地質学どちらも中間テストと期末テストがある。つまり計4回テストがあった。さらにレポートが合わせて2回課された。
感想を自由記入	時間も多し、試験もたくさんあって大変だった。授業もなかなか難しく、予習復習が必須だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
기후학	気候学
科目設置学部・研究科	地理教育学科
履修期間	後期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	後期
授業時間数	1週間に100分が1回、50分が1回
担当教授	강철성
授業内容	気候学について学ぶ。天気や韓国の気候についても学んだ。
試験・課題など	中間試験と期末試験が行われた。休講の際には教科書の要約という課題が出た。
感想を自由記入	休講の際の課題がとてつもなく大変だった。本来ならば発表なのだが、今年は教授の都合であることができないため、レポートになったという。予習復習が大変だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
테니스의 이론과 실기	テニスの理論と実技
科目設置学部・研究科	一般教養
履修期間	後期
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	実技による指導
授業時間数	1週間に 150 分が 1 回
担当教授	박건우
授業内容	実技でテニスを行った。サーブ、ストロークなど、基本中の基本を学んだ。
試験・課題など	期末試験は実技でストロークとバックハンドとサーブを行った。休講の際に 1 度レポートを課された。
感想を自由記入	とても初心者向けで少しつまらなかったが、運動になり、さらに友達ができたのでよかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
외국어로서의 한국어	外国語としての韓国語
科目設置学部・研究科	国際教養科
履修期間	後期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 100 分が 1 回、50 分が 1 回
担当教授	박현주
授業内容	韓国語を学ぶ。慣用語や新生語、韓国語の新聞や記事の読解などを行った。
試験・課題など	期末テストは筆記試験で、中間テストはなく、代わりにチーム発表がある。
感想を自由記入	レベルもちょうどよく、役に立つ授業であった。教授は過去に日本への留学経験があり、その話がたくさん聞けて、モチベーションを保つことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
역사문화지리학	歴史文化地理学
科目設置学部・研究科	地理教育学科
履修期間	後期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	少人数講義
授業時間数	1週間に 150 分が 1 回
担当教授	김창숙
授業内容	文化地理は主に文化伝播について学び、歴史地理は韓国の歴史地理について学んだ。さらに地理の教授法についても学んだ。
試験・課題など	期末テストは筆記試験であったが、中間テストは発表であった。レポート提出は 2 回ほどであったが、そのほかにも翻訳や要約といった課題も個人的に課された。
感想を自由記入	少人数であったため融通が利き、仲良くなれた。授業の時間外に食事や巡検ができてよかった。クラスメートが熱心に予習を行っているのを見て、気が引き締まってよかった。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2014年 1月～3月	
4月～7月	交換留学の募集を見て応募、志望理由などの書類を作成、提出
8月～9月	学内選考面接
10月～12月	留学に向けての語学の勉強
2015年 1月～3月	留学オリエンテーション、留学懇親会、出国、入寮、履修登録など
4月～7月	中間テスト、期末テスト、夏季休業、一時帰国
8月～9月	再び韓国へ、履修登録
10月～12月	中間テスト、期末テスト、後期終了
2016年 1月～3月	帰国、帰国届などの書類提出
4月～7月	韓国能力試験
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	外国語を習得すれば、コミュニケーションがとれる人の幅も広がり、自分の知見が広がるという考えから、外国語を本気で習得したいという夢があり、その実現のために留学を決めました。さらに親元を離れ、知らない町に1人行くことによって、「自分で生き抜く力」のようなものを身につけたいとも考えていました。1年次の春休みに1か月カナダへ留学しましたが、その際は日本人が15人もいて期間も短かったため、なかなか語学が伸びなかったというもあり、その教訓から8か月という長期留学を決意しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	やはり語学力がある程度あった方が良かったと思います。前期の韓国語での授業ではほとんどで何を言っているのかわからず、学びたいのにわからないという、じれったい状況でした。特に単語力を伸ばしておくとういと思います。英語は長年勉強してきているので、多少の単語力はありますが、韓国語などといった第2外国語は、私のように大学になって初めて勉強するといった方が多いと思います。その場合、単語力が問題となってきます。私は日本にいる際あまり単語の勉強をしなかったため、現地で特に聞き取りにおいて、とても苦労しました。
この留学先を選んだ理由	もともと、学生時代にどこかに留学したいといった夢がありました。ただ、英語圏だと競争率が高そうだと思い、割と競争率が低そうな韓国を選びました。さらに韓国への留学には、英語圏では提出必須な語学能力試験のスコアが必要ありません。なんとしてでも留学に行きたかったのです。そのため、このような胸を張って話せないような理由で韓国を選びました。留学先の学校については、なかなか情報が得られず、「地方の国立大学」というだけの理由で選びました。なぜかという、「地方＝日本人が少ない」、「国立＝親切そう」という偏見からです。ただ、この偏見は当たっていて、結果的にとても良い選択をしたと思っています。
大学・学生の雰囲気	忠北大学には日本人留学生がほとんどおらず、さらに大学がある町にも日本人は数えるくらいで、日本語を話す機会はほとんどありませんでした。全国各地から来た交換留学生同士とても仲良くでき、韓国人だけでなくほかの外国人達とも友達になれます。韓国語だけでなく英語を話す機会も多く、一石二鳥でした。大学はソウルからバスで2時間と少し離れており、遊ぶところは限られていますが、勉強するにはもってこいの大学だと思います。韓国の中心地方に位置しているので、旅行もしやすいです。キャンパスは、初めの頃は地図を持っていないと迷子になるくらい広く、たくさんの木であふれており、四季折々の素敵な様相を見ることができます。近代的な建物も古めかしい建物もあり、中央には池もあってピクニックも楽しめました。学校の近くにはカフェや食堂、飲み屋がたくさんあり、放課後には友達と行ったりして楽しめます。
寮の雰囲気	私の住んでいた寮には韓国人学生も多く住んでいて、全員でおよそ1500人が住んでいます。交換留学生はほぼ同じ寮に暮らします。男子棟と女子棟があり、食堂は共有でしたので、交換留学生の友達とよく食堂で一緒にご飯を食べて親交を深めました。学習室やジム、バスケットコート(屋外)、テニスコート(屋外)もあり、自由に使えました。各階にテレビ付きのフロア(談話室)があり、テレビを見ることができますが、たまにつかなくなったりもしました。洗濯は1回1000Wでした。AM1時～AM5時は外出禁止ですが、1学期につき5回以内だったらセーフです。食事の時間も決まっていたので、たまに食べ損ねたりもしました。外泊する際は届を出すといったような細かいルールはありましたが、そこまで厳密に守る必要はありませんでした。
交友関係	まず、先ほどから記載している通り、交換留学生のくくりで何かを行うことが多かったため、色々な国の友達と仲良くすることができました。現地の韓国人の学生は、やはり韓国人同士で仲良くする人が多く、初めはなかなか韓国人の友達ができませんでした。学校外で多言語での交流を目的とした「Language Exchange」という集まりがあり、そこに参加するようになってから、親しい韓国人の友達が増えました。後期になると韓国語にも慣れ、授業で仲良くなったりすることも多くなりました。それから、「友達の友達は友達」というように、輪がどんどん広がっていったのが印象的でした。さらに、私が友達作りに積極的に使ったのは、お酒です。コミュニケーションという言葉があるように、お酒と一緒に飲んで楽しむことによって仲良くなることも多かったです。お酒が好きだと言っていれば、よく誘われて、そこでまた新しい友達もできたりするので、とてもおすすめです。

困ったこと, 大変だったこと	まず、授業はもちろんとでも大変でした。その他では、初めて韓国に着いて入寮した際、することもなく、仲の良い友達もおらず、ただただ寝て散歩をする日が3, 4日続いたのですが、その際はとても辛かったです。毎日泣いていました。ただ、1週間経つと学校も始まり、その環境にも慣れ、それ以来ホームシックには一度もかかりませんでした。他には、風邪をひいた時は助けてくれる友達も少なく、風邪も免疫がないせいか重症化しやすく、しんどかったです。あとは、やはり文化の違いによって、不快に感じて悩んだり、イライラしてしまったりすることもありました。
学習内容・勉強について	授業についていくのは、もちろん大変でした。予習復習をやっていないと、授業ではさっぱりです。他の友達は遊んでばかりいるのに、私は勉強をしなければならないということがよくあり、ストレスも感じるがありました。ただ、ある授業では、クラスメートが学習範囲をまとめてわざわざ日本語に訳してくれたりするなど、教授やクラスメートの支えによってなんとか最後までやりきることができました。想像していたよりも難しく、思うように学習できなかったのが残念でしたが、他の学生の努力や勉強に対する姿勢などを知ることができ、違った意味で勉強になりました。
課題・試験について	試験では何をどう勉強すればよいのかわからず、勉強したところが全く出ずに、努力が発揮できないことが多々あり、悔しかったです。ただ、1度気候学の間で平均点をとったことはすごく嬉しかったです。範囲の教科書をすべて翻訳するなど、かなり勉強して臨んだので、平均点だったとしても、嬉しかったのを覚えています。外国人にはとんでもなく大変な課題を課された時があったのですが、友達の協力により終わらせることができました。事情を話せば教授も理解してくださって、テストにおいても日本語や英語で書いてよかったり、課題も違ったものを課してくださったり、考慮してくださりました。
大学外の活動について	前記したように、その地域で活動している英語クラブのようなものがあり、そこでその地域に住む外国人や、英語をしゃべれる友達もできました。このクラブに参加したことによってかなり人脈が増え、とても有意義な時間を過ごすことができました。さらに、友達と韓国各地へ旅行もしたのですが、その際は友達と一緒にいる時間がどうしても長くなるので、カルチャーショックのようなものを感じやすく、少し戸惑うこともありました。旅行は短期間の方が良いと思いました。
留学を志す人へ	私が「韓国へ留学しに行く」というと、周りの人は「反日が多く危険だ」「なぜ英語圏でなく韓国なのか」と言ってきましたが、韓国へ留学して危険な目にあったことはありません。反日も感じたことはなく、逆に親日の方が多かった気がします。英語圏ではありませんが、留学生だと英語を話す機会も多く、とてもよかったです。韓国は近く、夏休みには日本へ気軽に帰ってくることができました。留学を考えている方には、ぜひ韓国という選択肢も考えてみてほしいです。留学をすると様々な経験もでき、一生の友達も海外にできます。自分は無理だと思わず、チャレンジしてみた方が良いと思います。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中					授業	余暇活動	余暇活動
午後	授業	授業		授業			
夕刻	予習復習	予習復習	予習復習	予習復習			
夜				英語クラブ			